

中村じゅんや 議員だより



連絡先(事務所)：〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> http://www.junya-susono.club/

そろそろ来年度予算に向けた動きが活発化する時期です。

平成30年度の決算審査が主となる9月議会が閉会しました。地方創生の名のもとに地方には交付金と言う名の餌がまかれましたが、食いついた事業をうまく使えたのかどうか。多くが今年(R1)最終年度となっており、皆さんの評価をお伺いしたい所です。10月には「次年度の予算方針」が作成され、各部局が事業に併せ予算要求を行います。前述の交付金を基にしていた事業は、継続するなら全額市で負担することになります。当然3年間でどれだけ効果を得られたか、または布石を打てたかが論点になります。それに加えて、将来にわたって裾野市に貢献できる内容かどうか重要。現代を生きる人だけに恩恵を与えるような事業が多いですが、それこそ夢に向かって投資する決断も必要。よく聞く「大型商店や目玉となるものが裾野にない」なら、見合った土地、道路、規制緩和という対応が必要。それをできるのは行政です。財政が厳しいと財布のひもを締めるだけではなく、入ってくるお金を作る為の投資をしなければ、先々不安が残ります。さてみなさんは来年度の予算にどのような質のものを期待していますか？

会派未来すそのを代表し、5つ質問をしました。

9月議会では、各会派の代表が「代表質問」を行います。私の会派は5名で構成されており、持ち時間は45分です。質問方式は一括のため、5項目全部まとめて3回まで。どの質問に答弁しているのかなど、私はもちろん、傍聴される方にとって整理が追い付かない手法ですが、頭をフル回転させ取り組みました。

①総合計画に柔軟性を持たせ、リスクに備えよ！

10年毎の目標を設定する総合計画を現在策定しています。最上位の計画で、記載された物に向かい職員の頭脳と体は動きます。社会環境に併せ迅速に市政運営されないのはこの仕組みに一つ課題があると思います。

Q.人口減少に加え、企業の撤退というマイナス要因がある中で、夢を描く計画が大幅に想定を超えた時、柔軟に計画を変更し、迅速に社会に適應できる市の体制にすることが必要だと思うが、計画にリスクへの備えと柔軟性を持たせる考えはないか

A. 議決事項でもある為、議会の理解も必要であるが、時代の変化やリスク対応は非常に重要であり、計画への記載方法等について仕組みを研究したい。

②国家戦略特区に積極的・能動的に取り組もう！



Q.御宿地先の市街化編入や民間企業のマートシティ構想など民間はもとより国や県の注目が裾野北部地区に集まっている。しかしただ眺めていてもまちは作られない。これらを核としてまちの在り方を再構築する為、国家戦略特区など注目を利用したまちづくりにチャレンジする考えはないか。

A. まちづくり推進の核は地域であり、企業や国県などと主要部分で協力し取り組みたい。市独自のまちづくりを進める上で、AI・IOT自動運転など先端技術の実証や活用を進める次世代型未来都市というべき手法について研究し取り組んでいきたい。

③タクシー初乗り料金補助等で、高齢者が安心して生活や移動を支援しよう。

裾野市の公共交通は先行き不安。車は生活の一部となっている。一方、高齢者の悲惨な自動車事故も後を絶たない。一度しかない人生を棒に振ってしまうことがないように支援することが必要では？



Q.免許返納者の多くは、不要となった車の維持費に驚きつつ、ドアtoドアで移動可能なタクシーをうまく使う事に回して、移動手段を確保している。事故で人生を台無しにしてしまう前に、安全な移動手段構築のため、免許返納者に対しタクシーの初乗り料金を補助する制度を創設しないか。

A. 免許証返納のきっかけとしては有効だが、利用見込みの想定が難しく、また財政状況も厳しいため現段階で実施は考えていない。

Q.地域によっては、インターネットアプリを活用し予約制でボランティア送迎を行うささえ合いの仕組みも構築されている。乗合や宅配など生活利便性向上にITがうまく活用されてきたが、必要とする高齢者にはそれを使いこなせない方もいる。生活に必要なIT活用の勉強会を積極的に行う考えはないか？

A. 様々な公共交通の実証が行われる中、地区のニーズに應えられる施策が展開できていない。それを補完する高齢者の方に馴染みの薄い新しい技術の利活用について推進し、公共交通マニュアルへの反映も検討したい。

④国道246号沿いに川の駅を作るなど、土地利用の規制緩和に埋もれない取り組みをしよう！

Q.富士山に関連した観光やオリンピックなどを機にスポーツ拠点として裾野市が着目され、大勢の往来がある。今こそ国道246号沿線の規制緩和を打破し、市内に人の流れを呼び込む施策を実施すべきだと考える。富士山資料館や深良用水展示も取り入れた複合施設として川の駅を整備する等国道沿線の活用についてお考えは？

A.土地利用が可能であればとても魅力的な拠点と考えるが、市街化調整区域で土地利用に関する高いハードルがあり、川の駅設置は難しい。

Q.公務員が法規制を打破するといった回答ができないのは分かる。場の活用について、努力を指示できるのは市長しかいない。市長の道しるべとしてはどのように考えているか？

A.市の取り組みにおいて現在の法律や規制が邪魔をし実現できず多くの可能性を失ったとも感じている。新たなまちづくりに向け規制緩和や、規制打破も図ることが必要であると考えており積極的な施策展開に向け取り組みたい（市長）

⑤裾野駅前の賑わいを協働手法で作上げよう！

令和11年度に完了予定の駅西区画整理事業。御殿場市や長泉町が賑わいを増す中、完成後のこのエリアがそれらの賑わいを超える場にならなければ何のための投資か？疲弊漂うエリアに賑わいの種を持つ人々の知恵を導入すべき。

Q.できた広い道路脇に商店は栄えず、人通りも変化がない。いよいよ商店街エリアに着手するが、閉店主が再開店する勢いも感じられない。一方起業で場所を探す方は多くおり、土地の広さや立地場所に具体的なニーズを示す方もいる。賑わい創出に向け意欲ある方を巻き込み駅西の活気を担保する必要が今あると考えるがどうか？

A.当事者である商店街の方や活性化支援団体が、賑わいを議論し、進行する様であれば寄り添っていきたい。また市は区画整理事業で、きれいな街並みを整備したい。

市はきれいな街並みを整備するけど、賑わいを考えるのは疲弊しようが地元人。「裾野の玄関口」で市が目指しているのは、街並の綺麗な住宅地？総額220億。。。割り切り感に驚き。良いの!?

平成30年度決算、令和元年度補正予算審査で、気になったモノ

●補正予算に関するもの

■市街化区域編入の御宿地先の道路整備

「裾野市に住む土地が無い」を解消するため御宿（総合グランド傍）に100戸程度が分譲可能で且つドラッグストア等設置可能な土地が整備されます。このエリア内の道路と隣接道路の整備に対し市が補助を出します。車の通りが多い場所であり通学路でもある為、歩道も確保される予定です。



●決算審査に関するもの

■薄層表土屋上緑化事業（地方創生）

3年間の交付金をもらい首都圏の屋上緑化ニーズに販路を掲げた事業。商品としては大よそ完成したとのことですが、売上、販路とも低調。組合は事業継続するでしょうが、市がその組合を支援するかどうかは未定（私は自立にエールを送ります）そんな中、東京日本橋口傍に無償で展示スペースが生まれました。高速バス降り口のそばです。



各種活動のご紹介

●総務委員会の行政視察

- ・寝屋川市の納骨堂、合葬墓
- ・橋本市の区画整備事業縮小
- ・岬町の道の駅

裾野市が抱える将来の課題。未来にタイムスリップ？という内容。



●呼子区 裾野原緑会活動参加
世代を超えて、その思いは確実に地域の皆さんに受け継がれています。地域の美化や緑化をきっかけにして、コミュニティーは益々深まっていくことでしょう！がんばろう！

●会派の政策提言を提出

8月15日に市長に43項目の提言を記して提出しました。本紙面記載の代表質問などもこの提言を元に実施したものです。来年度予算に少しでも反映があると良いのですが、

